

## ■講演会 事例

本講演は、宮崎県医師会主催の県内でのロコモティブシンドローム予防の取組みについて、各方面の団体が一堂に会し成果発表するものです。

当社も宮崎大学と共同開発している歩行計測機器 (LHR-100) と転倒リスクチェックシステムの企業として、企画部部長の富田より共同開発商品とデモ実施事例の取組みをご紹介いたしました。

会期日時：2019年3月24日(日) 13：30受付、14：00～16：00

参加者数：70人

内 容：帖佐教授の講演、各団体の取組発表、他当社デモ展示

### 【講演会 目次】

「ロコモ対策で健康寿命日本一を目指す！-宮崎県の取組み-」 宮崎大学医学部附属病院整形外科 帖佐悦男 教授  
 「最近の国の動向と今後の県の取組」 宮崎県福祉保健部健康増進課 矢野好輝 課長  
 「ロコモティブシンドローム予防と口腔機能低下症」 宮崎県歯科医師会地域保険 青山修 理事  
 「ロコモ予防に対する宮崎県理学療法士会の取組み」 宮崎県理学療法士会 常盤直孝 理事  
 「ロコモ度テストからみた宮崎県民の健康寿命延伸の課題」 宮崎大学医学部看護学科 鶴田来美 教授  
 「宮崎市でのロコモ予防事業の取組について」 宮崎市健康管理部健康支援課 木村ひろみ 様  
 「都農町におけるロコモコールの取組について」 都農町福祉課介護保険係 技師 安藤優子 様  
 「歩くだけで、歩行状態とロコモ点数を簡単測定歩行計測機器のご紹介」 三和ニューテック株式会社 企画部 富田幸嗣 部長

